

第1回県立高等学校整備構想（仮称）検討委員会概要

日時：平成20年10月31日（金）

午前9時30分～

場所：県議会議事堂地下会議室

出席者（検討委員）

秋山宏子委員、飯塚武子委員、川村直廣委員、功刀辰也委員、後藤正比古委員、坂本直子委員、眞田良一委員、佐野好子委員、清水悟委員、清水祝子委員、進藤聡彦委員、鈴木栄一郎委員、中込文江委員、堀内十七三委員

（内容については、丁寧な表現は部分的に省略しています。）

1 開会

（検討委員の紹介）

（山梨県教育委員会事務局職員の紹介）

（資料の確認）

2 検討委員会の設置

矢崎新しい学校づくり推進室長

要綱により、検討委員会の目的、組織等について説明。

（設置要綱については、質問・意見なし）

3 会長及び副会長選出

司会（八巻新しい学校づくり推進室主幹）

県立高等学校整備構想検討委員会設置要綱第4条第1項の規程により、会長及び副会長を選出することとなっている旨を説明。

会長に眞田良一委員、副会長に進藤聡彦委員を選任。

4 会長挨拶

眞田会長

只今会長に選任されました眞田です。よろしくお願ひ致します。

当委員会は、設置要綱にもあるように、生徒の多様化、時代のニーズ、生徒数の減少等に対応し、魅力ある高校づくりを推進するための指針となる「県立高等学校整備構想」の基本となるべき事項について、調査・審議し、教育長に報告書をもって提言するという役割を担っております。

御承知のとおり、県の行動計画の基本目標の一つには『「はぐくむ・やまなし」の実現』があり、山梨の未来を担う子ども達が、学力やたくましさを身に付けられるよう教育環境を整えることを施策として掲げています。

検討を進めるに当たり、これから策定される新たな構想により、本県の高校教育が活力に満ちた、生徒にとって魅力ある高校となり、複雑な社会構造の中にあっても、個性・特性を生かし、たくましく未来を切り開く生徒が育成されることを期待しています。

結びに、委員の皆様のご多様な御意見・御提言により、この検討委員会が実りある成

果を上げることができるよう、御協力をお願いし挨拶といたします。

5 議事（議長：眞田会長）

議長

第1号議案の「策定スケジュールについて」事務局から説明願う。

矢崎室長

「策定スケジュールについて」を説明する。

議長

「策定スケジュールについて」質問・意見は。

質問・意見が無い様なので、第2号議案の「現構想の整備状況について」事務局から説明願う。

八巻主幹

「現構想の整備状況について」を説明する。

議長

専門的な用語が多く非常に難しいが、「高校の現状等について」質問・意見は。

功刀委員

「加配制度」とは。

矢崎室長

教員の標準的な定数は、国の法律に基づき学校の規模によって定められているが、少人数学級等を実施することで余分な配置が認められている。このことを通称「加配」と言っている。

清水悟委員

「高大等の連携」について、実際どの様な学校と行っているのか。

八巻主幹

上野原高校が東京経済大、津田塾大、実践女子大、帝京科学大と。甲府昭和高校、市川高校が山梨大医学部と。桂高校が都留文科大と行っている。

大学の先生が高校に出向いて授業を行うこと、高校生が大学で授業を受ける場合とを総称して「高大連携」と言っている。

清水祝子委員

「前期・後期募集の導入」の成果は。

八巻主幹

それについては、資料説明の中で触れさせていただきたい。

議長

他になければ、第3号議案の「高校の現状等について」事務局から説明願う。

八巻主幹

「高校の現状等について」を説明する。

議長

「高校の現状等について」質問・意見は。

質問・意見が無い様なので、第4号議案の「資料について」事務局から説明願う。

八巻主幹

「資料ついで」を説明する。

議長

これらの資料は、今後検討していくための基礎データになるが、何か質問・意見は。入学者選抜制度の説明もあったがこれでよいか。

清水祝子委員

追々、教えてもらいたい。

功刀委員

20年度以降の中学校卒業見込み予定者数は、この数字から変わらないということか。

矢崎室長

出生者数なので、総数についてはそんなに変わらない。

議長

お手元に「ハイスクールガイド」が配付されているが、これに本県の高校の状況が大変詳しく書かれているので、是非ご覧いただきたい。

他になければ、第5号議案の「新たな構想の策定主旨等について」事務局から説明願う。

矢崎室長

第5号議案の「新たな構想の策定主旨等について」説明する。

議長

「高校の現状等について」質問・意見は。

和光委員

高校における産業教育とは。

矢崎室長

工業系、農業系、商業系の高校における教育という判断。

和光委員

一方にある大学進学はどうするのか、産業教育だけクローズアップされるのはどう

なのか。

矢崎室長

県内の人材が流出しているなかで、どういう教育ができるかという意味で産業教育が重視されている。進学については重要視していないという訳ではない。

川村委員

ここに書いてあるなら、新しい構想に反映させなければならない。全県一学区と生徒数の減少と同じ扱いであれば、産業教育をかなり意識しなければならないが。

矢崎室長

現構想による総合学科は職業系の高校、産業系の学科を統合して整備してきたため、職業系の高校が少なくなったと見られている。そのため意識的に職業系の充実を図っていきたいという考えがある。

川村委員

人材確保ということが強く意識されているのか。

矢崎室長

人材確保ということを重視しているが、職業系の高校の内容の見直しを検討していきたい。

議長

他に質問・意見が無いようなので、第6号議案の「構想の概念図について」事務局から説明願う。

矢崎室長

「構想の概念図について」を説明する。

議長

「構想の概念図について」質問・意見は。

和光委員

大学の連携とあるが予算化されるのか、周辺の状況を整えていくのか。

矢崎室長

大学との連携はかなり進んでいるが、今後も充実させていきたい。予算的にも高校教育課で進めてもらっている。産業短期大学との連携については、商工労働部と検討を進めている。

和光委員

かなり進んでいるということか。

矢崎室長

今後も積極的に進めていきたい。

議長

他に質問・意見が無ければ、第7号議案の「その他について」事務局として何かあるのか。

八巻主幹

特にない。

議長

短時間の間に膨大な資料の説明があったが、今後は具体的な検討をしていくことになる。7回の検討を半年でやらなければならない状況にあるが、積極的に意見を出して頂いて成果が得られる様ご協力願いたい。本日の議事はこれまでとする。

6 その他

今後の日程について

閉 会